

【ボランティア活動】での活用事例

(中学校全学年)

【活用した資料】

- 中学校版「心みつめて」p.151 第三章 「みんなでつながって、よりよい社会を！」

【学習指導要領に示されている関連する道徳の内容】

- 4-(2)「公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。」

○ 夏休み前に、「ボランティア活動」や「社会貢献」について考えるきっかけとして…

夏休み中は、ボランティア活動への参加、地域の文化団体やスポーツクラブなどへの参加といった、社会貢献や社会参加の機会が増えます。そこで、夏休み前に、「心みつめて」第三章(p.151)「みんなでつながって、よりよい社会を！」の中の「社会連帯とは…」を取り上げ、自分たちの地域にはどのようなイベントやボランティア活動があるのかを考えさせました。「盆踊り」「夏祭り」「花火大会」「ラジオ体操」「地域清掃」などが挙げられました。また、「東京消防庁の防災訓練の写真」を見せ、「防災訓練」も地域にとって大切な活動であるということを伝えるとともに、それらの活動が、その活動を支える人達によって成り立っているということも捉えさせました。

「中学生も社会の一員であり、よりよい社会をつかっていくために、地域の活動を支え、積極的に参加・参画していくことが求められている」ということ、「ボランティア活動に対してハードルが高いと感じている人は、まずは地域行事に参加することから始めるとよい」ということが伝わるよう心掛けました。

この活動のあとに、「社会を明るくする運動の街頭パレード」「地域清掃」の参加者を募集したところ、多くの生徒が参加を申し込みました。よりよい社会をつくるには、まず社会参加が大切であることを、生徒が理解した成果です。

○ 社会参加、ボランティア活動などの体験を通して感じたことや考えたことをまとめるために…

多くの学校で、社会参加を目的とした行事として「地域清掃」「あいさつ運動」などが実施されています。よりよい社会の実現に向けた取組への参加を通して感じたことや考えたことを書かせ、自分を振り返る活動に取り組みさせることが大切です。

「心みつめて」第三章(p.151)の「よりよい社会の実現に向けて！」の欄に自分の意見や考えを記入させ、発表をさせました。生徒からは、「やってよかった。」「はじめは面倒だと思ったが、やってみると充実感を感じた。」「地域の人に感謝されてうれしかった。」「今度は、学校行事ではなく、ボランティアに申し込みをして活動してみたい。」などの声が挙がりました。

生徒会活動や学校行事、総合的な学習の時間などを利用して、意図的に社会参加を目的とした活動を実施し、その活動を振り返る時間を設定することが必要です。そして、それをきっかけに生徒にボランティア活動の意義を考えさせ、よりよい社会の実現に努める意識を育ませていくことが大切です。